



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
 コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,049	5.2	3,859	2.1	4,000	1.6	2,269	6.3
2020年3月期第3四半期	31,705	15.8	3,779	18.3	4,066	17.1	2,422	5.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,600百万円 (2.2%) 2020年3月期第3四半期 2,659百万円 (12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.72	17.62
2020年3月期第3四半期	18.93	18.80

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,981	31,581	67.5
2020年3月期	42,891	29,901	65.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 29,706百万円 2020年3月期 28,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		3.50	
2021年3月期		3.50			
2021年3月期(予想)				3.00	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.5	5,200	4.9	5,300	2.1	3,400	6.5	26.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	128,065,000 株	2020年3月期	128,036,200 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	708 株	2020年3月期	708 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	128,047,936 株	2020年3月期3Q	127,958,802 株

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2021年1月29日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(2020年10月1日~2020年12月31日)における当社グループを取り巻く経済環境において、新型コロナウイルスの感染再拡大が生じ、国内外で緊急事態宣言の発出やロックダウン等を余儀なくされる状況が急速に高まっており、再び不透明感が強まることが予想されます。

BPO市場においては、企業のBCPニーズの高まり、デジタルトランスフォーメーションへの期待から、堅調な成長が見込まれております。

このような環境の下、当社グループでは今までの既成概念を払拭し、新しい時代で必要とされるサービスの創造が必要と考えております。当社グループの特徴である地方都市でのBPO拠点の設置により、緊急事態宣言が再度発出されている中でも安定して事業を継続しております。本社機能の拠点移管を進めることが更なる事業安定に資すると判断し、実行に移すことでクライアント企業からの業容拡大及び有事の事業継続計画への対応が出来るものと考えております。

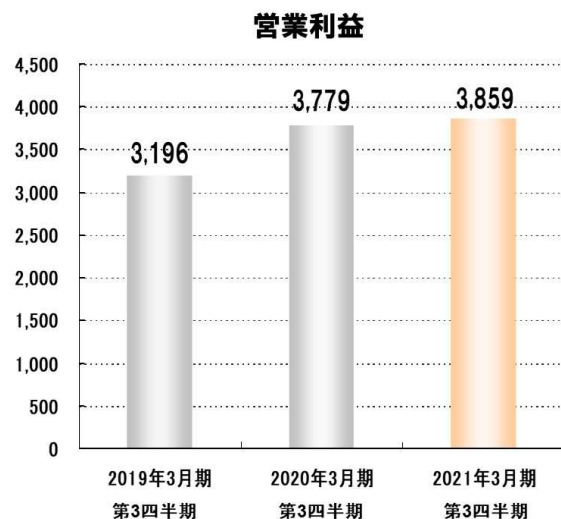
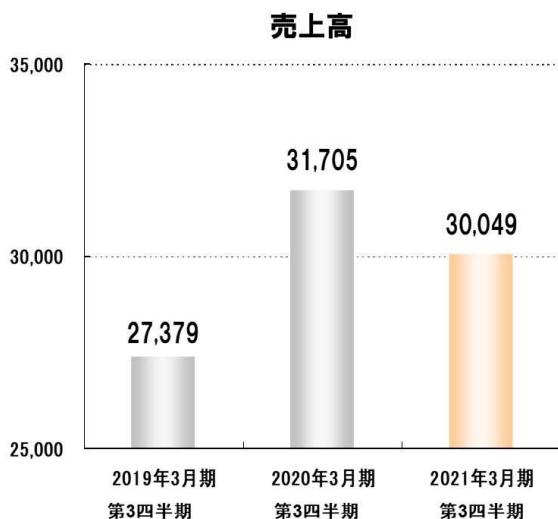
2021年3月には山形県酒田市の山形BPOガーデンに500席のオペレーションを追加し、山形BPOパークの開設、2022年3月には秋田県にかほ市に500席のオペレーションを有する秋田BPOにかほキャンパスの開設、更に2024年3月には岩手県一関市に岩手BPOセンター(仮称)を開設する等の成長投資を行ってまいります。

経済状況は厳しく、不透明な状況が継続すると認識しておりますが、新しい時代における「PIでしか実現できないサービス」を發展させ、継続的、安定的な成長の実現に努めてまいります。

当第3四半期の連結売上高に関しては、特にグローバル事業が新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を大きく受け、30,049百万円(前年同期比5.2%減)となりました。営業利益に関しては、継続的にコストコントロールを徹底し、3,859百万円(前年同期比2.1%増)となりました。経常利益に関しては、為替差損56百万円の計上等により4,000百万円(前年同期比1.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失(※1)として不正請求加算金116百万円を計上した結果、2,269百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

(※1) 特別損失の不正請求返還加算金は、当社連結子会社である株式会社プレミア・ケアにおいて、2020年11月25日に児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業者等の指定の取消しを受けたことに伴い、地方自治体に支払う給付金返還額の加算金であります。

	前第3四半期	当第3四半期		参考 前連結会計年度
売上高	31,705百万円	30,049百万円	(前年同期比5.2%減、1,656百万円減)	42,377百万円
営業利益	3,779百万円	3,859百万円	(前年同期比2.1%増、79百万円増)	4,959百万円
経常利益	4,066百万円	4,000百万円	(前年同期比1.6%減、65百万円減)	5,364百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,422百万円	2,269百万円	(前年同期比6.3%減、152百万円減)	3,193百万円
1株当たり四半期純利益	18.93円	17.72円		24.95円



当社では今期より事業区分を変更しております。

前期の比較については、同じ基準で前期の実績を置き換えた数値との比較となっております。

尚、従来「総合保証」と表記しておりましたが、事業区分を明確化することを理由に「金融保証」に変更しております。サービスの構成については変更ありません。

● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、国内における活動自粛の影響を受け、減収となりました。

営業利益に関しては、コストコントロールを徹底した結果、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	15,691百万円	14,822百万円
営業利益	1,823百万円	2,184百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-868百万円	-5.5%
営業利益	+361百万円	+19.8%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての専有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、不動産向けサービス（ホームアシスト）における既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益に関しては、新センター稼働に向けた採用、教育の費用等が安定し、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	3,905百万円	3,978百万円
営業利益	363百万円	368百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+73百万円	+1.9%
営業利益	+5百万円	+1.4%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート業務（ヘルスケアプログラム）、クレジットカードの発行業務を行うグローバル事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航者の減少、クレジットカード利用額の減少等の影響を受け、減収減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	4,703百万円	3,363百万円
営業利益	754百万円	230百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-1,340百万円	-28.5%
営業利益	-523百万円	-69.4%

● カスタマー事業

国内のカスタマーコンタクトサービスなどを展開しているカスタマー事業は、既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益に関しては、不採算案件の解消により、増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	3,349百万円	3,711百万円
営業利益	161百万円	411百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+361百万円	+10.8%
営業利益	+250百万円	+155.0%

● 金融保証事業

金融に関わる保証サービスを提業している金融保証事業におきましては、グループ会社である株式会社イントラストが経営する保証プログラムが堅調の推移し、増収増益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	3,133百万円	3,334百万円
営業利益	806百万円	806百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+200百万円	+6.4%
営業利益	+0百万円	+0.1%

● IT事業

IT事業におきましては、戦略的にリソースをグループ内の開発に移行させたことが影響し、減収減益となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	605百万円	400百万円
営業利益	150百万円	114百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-204百万円	-33.9%
営業利益	-35百万円	-23.6%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム、保育事業等のサービスを中心としたソーシャル事業では、発達障害児支援プログラムでの会計処理の影響がなくなり、売上高は増収、営業利益は赤字幅が縮小となりました。

	前第3四半期	当第3四半期
売上高	316百万円	439百万円
営業利益	-320百万円	-249百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+122百万円	+38.8%
営業利益	+70百万円	—

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第3四半期末における総資産は、43,981百万円となり前連結会計年度末に比べ1,089百万円増加となりました。流動資産に関しましては、現金及び預金が1,405百万円減少、受取手形及び売掛金が500百万円減少となりました。これらにより流動資産合計では前連結会計年度末より1,921百万円減少し、25,780百万円となりました。固定資産に関しましては、投資有価証券が1,308百万円増加、有形固定資産のその他(純額)が842百万円増加となりました。これらにより固定資産合計では前連結会計年度末より3,011百万円増加し、18,201百万円となりました。

負債に関しましては、支払手形及び買掛金が234百万円減少、未払法人税等が760百万円減少、賞与引当金が214百万円減少、流動負債のその他が665百万円増加となりました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より590百万円減少し、12,399百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが2020年6月及び12月に発生いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,269百万円であったため前連結会計年度末に比べ1,679百万円増加しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,089,133	15,683,557
受取手形及び売掛金	4,516,904	4,016,496
商品及び製品	31,951	49,578
仕掛品	—	93,025
原材料及び貯蔵品	31,995	72,275
その他	6,607,479	6,469,957
貸倒引当金	△575,570	△604,758
流動資産合計	27,701,893	25,780,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,257,504	7,919,720
その他(純額)	1,641,128	2,483,460
有形固定資産合計	8,898,632	10,403,181
無形固定資産		
その他	1,160,294	1,347,005
無形固定資産合計	1,160,294	1,347,005
投資その他の資産		
投資有価証券	4,385,863	5,694,517
その他	811,650	823,752
貸倒引当金	△66,516	△66,995
投資その他の資産合計	5,130,997	6,451,275
固定資産合計	15,189,924	18,201,463
資産合計	42,891,817	43,981,595

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,826	1,093,433
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	1,421,337	660,667
賞与引当金	654,055	439,419
資産除去債務	11,378	1,983
保証履行引当金	85,592	82,094
その他	7,288,508	7,953,904
流動負債合計	11,138,699	10,581,501
固定負債		
長期借入金	500,000	375,000
退職給付に係る負債	3,613	5,825
資産除去債務	1,146,416	1,194,943
その他	201,221	242,541
固定負債合計	1,851,251	1,818,310
負債合計	12,989,950	12,399,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,958	1,497,050
資本剰余金	2,765,437	2,766,319
利益剰余金	23,489,887	24,862,213
自己株式	△248	△248
株主資本合計	27,750,035	29,125,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212,011	379,413
為替換算調整勘定	289,203	201,503
その他の包括利益累計額合計	501,215	580,916
新株予約権	111,285	153,443
非支配株主持分	1,539,331	1,722,087
純資産合計	29,901,867	31,581,783
負債純資産合計	42,891,817	43,981,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,705,726	30,049,428
売上原価	24,961,206	23,322,210
売上総利益	6,744,519	6,727,217
販売費及び一般管理費	2,964,539	2,868,210
営業利益	3,779,979	3,859,006
営業外収益		
受取利息	7,732	3,894
有価証券利息	80,829	99,083
受取配当金	23,733	25,631
持分法による投資利益	98,622	90,923
為替差益	84,430	—
その他	21,980	29,221
営業外収益合計	317,329	248,755
営業外費用		
支払利息	2,213	1,525
為替差損	—	56,513
その他	29,041	48,882
営業外費用合計	31,254	106,921
経常利益	4,066,054	4,000,840
特別利益		
固定資産売却益	1,917	13,801
投資有価証券売却益	173,044	—
その他	7,597	1,475
特別利益合計	182,558	15,276
特別損失		
固定資産売却損	3,467	67
事業撤退損	150,048	—
不正請求加算金	—	116,723
その他	15,038	28,379
特別損失合計	168,555	145,171
税金等調整前四半期純利益	4,080,056	3,870,945
法人税、住民税及び事業税	1,324,156	1,362,979
法人税等調整額	113,474	△8,069
法人税等合計	1,437,631	1,354,910
四半期純利益	2,642,425	2,516,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	220,366	246,767
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,422,059	2,269,267

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,642,425	2,516,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,451	172,253
為替換算調整勘定	△82,574	△87,700
その他の包括利益合計	16,876	84,553
四半期包括利益	2,659,302	2,600,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,444,277	2,348,968
非支配株主に係る四半期包括利益	215,025	251,619

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。